

かもう公民館 図書室だより

平成27年度 1月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

1月 (睦月 むつき)

米からできる“もち”は神聖な食べ物であり、神が宿る丸い鏡に見立てた鏡もちが年神様のよりどころ。1月11日の鏡開きは、お正月に供えた鏡もちを食べて、年神様とお別れする日です。「切る」というのは縁起が良くないので、「開く」というのだそうです。(参考資料「なごみ歳時記」)



ぐるぐる蒲生めぐり・番外編

蒲生公民館図書室 (かもうこうみんかんとしよしつ)

今回は、蒲生公民館図書室の歴史についてご紹介いたします。そもそも公民館は、かつては今と違う場所に建っていました。旧蒲生町役場の敷地にあり、そこに町立図書館が併設されていたのです。その蔵書数は5002冊、移動図書館車による貸出も行われており、好評を得ていたそうです。昭和54年に現在の公民館が建設されるにあたり、町立図書館から公民館図書室へと生まれ変わりました。今では蔵書数も約18,000冊と増え、さらに多くの方に利用して頂いています。これからも、蒲生公民館図書室をぜひご利用ください♪ (参考資料:「蒲生郷土誌」)



●1月カレンダー

1月カレンダー						休室日	
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

開室日 : 火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間 : 9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数 : 図書5冊・雑誌2冊
貸出期間 : 15日間

始良市立図書館ホームページ
<http://lib-airajp/>

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

「人魚の眠る家」 東野圭吾 著



娘の小学校受験が終わったら離婚すると約束した、仮面夫婦の二人。そんな中、娘がプールで溺れ…愛する人を持つすべての人へ贈る、感涙の東野ミステリ。

テレビドラマ「コウノドリ」の主人公のモデルとなった産科医が語り下ろした、ダンナさんのための妊娠出産バイブル。読めば目からうろこが落ちる一冊です。



「ダンナのための 妊娠出産読本」 荻田和秀 著

「きえた! ? かいけつゾロリ」 原ゆたか さく



たいへんです、かいけつゾロリ ゆくえふめい。イシシとノシシは必死に探しますが、なかなか見つからなくて…。長年愛されている人気シリーズの最新作。

一般書

「困難な成熟」 内田樹
「真田幸村と大坂の陣」 三池純正
「耳は1分でよくなる!」 今野清志
「毛糸の華やかカラフルざぶとん」 アップルミンツ
「魔法のケーキ」 荻田尚子
「ヒクイドリ」 古野まほろ
「オスにいたい何があるというんですか?」 村上春樹

児童書

「かごにのって」 とよたかずひこ
「ノラネコぐんだんおすし屋さん」 工藤ノリコ
「うまくなる少年サッカー」 平野淳 監修

2015年 人気のあった本ベスト5

昨年、蒲生公民館図書室で貸出の多かった本 5冊をご紹介します!
気になる本があったら、ぜひ手に取ってみてくださいね♪

一般書

1 「小説 土佐堀川」 / 古川智映子



- 「ひとりか、いちばん!」 / 橋田壽賀子
- 「20代30代夫婦が建てた家」
- 「暮らしを、センスよく小さくする本」
- 「子どもはみんな問題児。」 / 中川李枝子

一位は人気ドラマ、「あさが来た」の原案本。激動の幕末・明治を逞しく生きる姿が感動的です。

児童書

1 「ノラネコぐんだんパンころうじょう」 / 工藤ノリコ



- 「うみの100かいだてのいえ」 / いわいとしお
- 「ぼくのニセモノをつくるには」 / ヨシタケシンスケ
- 「ぼうしとつたら」 / tupera tupera
- 「アンパンマンのこもりうた」 / やなせたかし

8匹のやんちゃなネコたちが大活躍!何だか憎めない“ぐんだん”が熱い支持を集めました。